

21-06-15

新技術を活用して異常時対応の強化を図ります ～写真や動画をクラウド上で即座に共有できる情報共有アプリの導入～

名古屋鉄道では、事故や災害など異常時対応の強化を図るため、現場の画像や位置情報等を係員間で即座に共有できる当社専用の情報共有アプリを開発し、8月2日に導入します。

これは、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」(2021～2023年度)の重点テーマに掲げる「交通事業の構造改革」の新技術の活用等による業務効率化の一環です。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 運用開始日

8月2日(月)

2. 導入アプリ

概要: ・事故や災害等の障害発生現場の情報をより迅速かつ正確に社内で共有するため、株式会社インフォマティクス製の即時情報共有システムをカスタマイズした、当社専用アプリです。

・スマートフォン等で本アプリを用いて写真や動画を撮影すると、クラウド上で即座に情報共有できるほか、地図上で撮影地点が表示される機能や写真等に情報を追記できる機能を備えています。

効果: ・従来の運用に比べ現場の状況を迅速かつ正確に共有することが可能になり、輸送復旧に向けた部門間のよりスムーズな連携や、精度の高い復旧計画の策定、復旧状況に応じた臨機応変な判断など、異常時対応の強化につながります。

・現場の係員が状況報告に要する時間を短縮することで、復旧作業に注力できるという効果も見込んでいます。

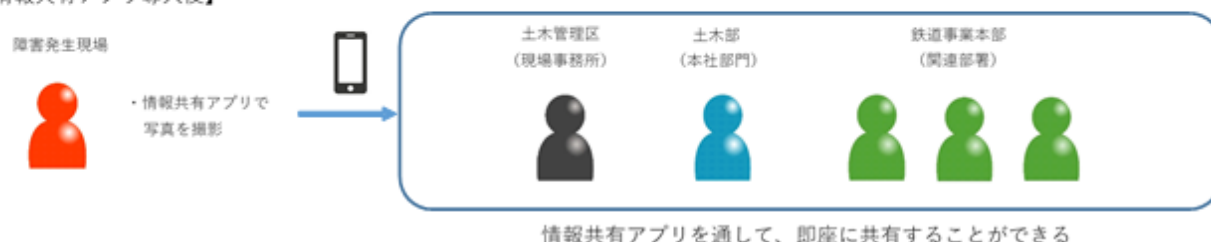
3. アプリ導入前後の障害発生時における情報伝達イメージ

(例: 土木係員が障害発生現場の状況確認など初動対応にあたる場合)

【これまで】



【情報共有アプリ導入後】



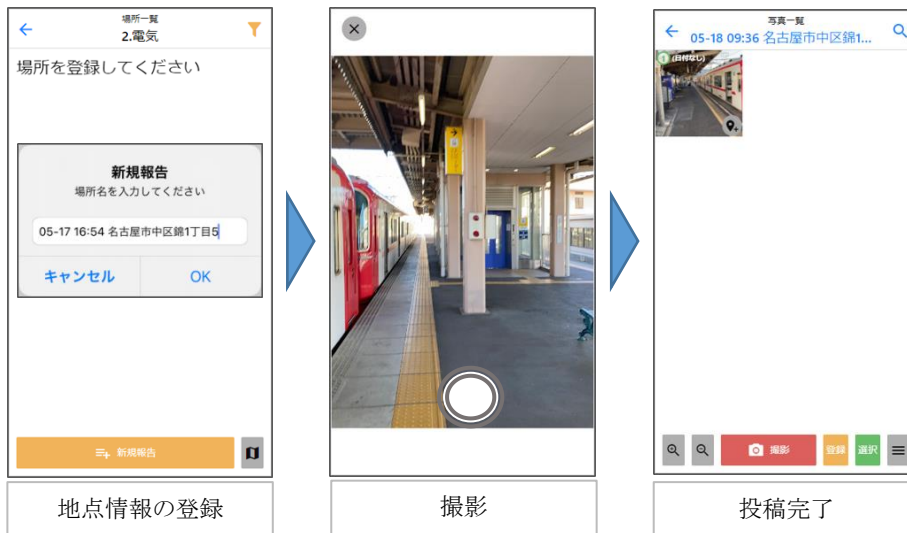
4. アプリの主な導入範囲と導入台数

- ① 運転、土木、車両、電気の各現場係員の業務用スマートフォン 約 150 台
- ② 車掌が使用する業務用タブレット端末 約 500 台

<参考>

アプリの主な機能(画面イメージ)

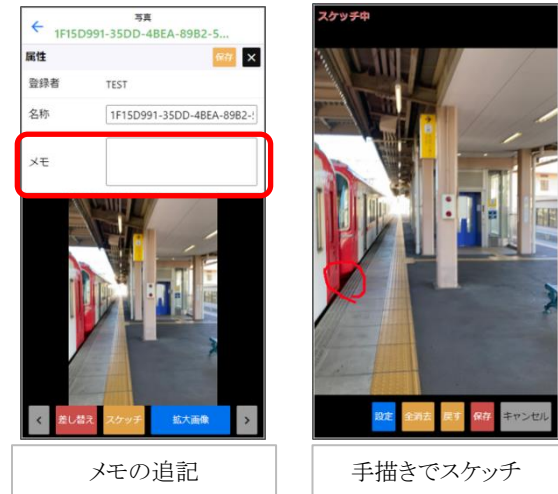
・写真の投稿



・位置情報の共有



・情報の追加



現場の正確な位置情報を即座に共有でき、応援要員の素早い参集による復旧作業の効率化などが期待できます。また、撮影した方向が矢印で表示され、より正確な情報共有につながります。

写真のみでは伝えきれない情報の補足や作業指示等、現場の係員と遠隔にいる係員間における、より迅速で正確な情報共有につながります。

以上